2026年度グローバルPBL（派遣）実施報告

トライアングル gPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2026年09月01日 ～2027年09月12日	大韓民国	漢陽大学 パリ・ベルヴィル建築大学	・建築学科 ・学部4年生、学部3年生、修士1年生、修士2年生	（芝浦工業大学） 学生10名、学生バイト2名、教員2名 （漢陽大学） 学生10名、教員3名 （パリ・ベルヴィル建築大学） 学生11名、学生バイト2名、教員2名	桑田　仁(建築学科)、岡崎瑠美(建築学科)



図1 グループワーク

芝浦工業大学、提携校であるフランスのベルヴィル国立建築大学（ENSAPB）、および韓国の漢陽大学の3大学による国際ワークショップを実施した。本プログラムはトライアングル・プログラムとして約10日間の集中講義形式で行われ、異なる国・文化的背景を持つ学生同士の交流を通じて、国際的な視野に立った建築設計手法の習得、英語によるコミュニケーション能力の向上、および相互理解の促進を目的とした。ワークショップはENSAPにおいて実施され、参加者は景福宮（Gyeongbokgung）と西小門（Seoseomun）を見学し、ソウルの都市の歴史とともに建築的特徴について学んだ。また、聖水（Seongsu）の敷地を対象として学生寮の設計課題に取り組み、3大学の学生が国際混成チームを編成して敷地分析、設計提案の作成、英語による最終発表を行った。これらの活動を通じて、参加学生は文化や教育背景の異なる学生との協働を経験し、国際的な建築教育における連携を深めるとともに、参加大学間の国際ネットワークの強化に寄与する成果を得た。



図2 最終発表会



図3 最終発表会



図4 集合写真

画像などコンテンツの無断転載を禁じます。